

## 成果物一覧（その他イベント）

No	成果物	イベント
1	WEBチラシ	津軽海峡を行き来して海の魅力を発見しよう！-海と日本PROJECT-
2	WEBチラシ	海の宝アカデミックコンテスト優秀作品上映 -海と日本PROJECT-
3	WEBチラシ	北の海の生きものたち -海と日本PROJECT-
4	WEBチラシ	北大練習船のヒ・ミ・ツ -海と日本PROJECT-
5	WEBチラシ	大阪湾を知ろう！2021～海と日本PROJECT～
6	WEBチラシ	函館2021夏・私たちの海の宝は守れるか？-海と日本PROJECT-
7	チラシ	海の中を覗いてみよう！ 海と日本PROJECT
8	WEBチラシ	漂着するイルカ・クジラと海洋プラスチック-海と日本PROJECT-
9	チラシ	海と日本PROJECT ミッション2021 自然エネルギーの活用で本来の地球環境を取り戻せ！ ～洋上風力発電を中心として～
10	チラシ・ポスター	海の魚はおもしろい！ -海と日本PROJECT-
11	チラシ・ポスター	海と日本PROJECT 鹿児島のカササギを調べる～カササギ解剖教室～ （開催中止）
12	WEBチラシ	2021海峡の夏・空から考える私たちの海の宝 -海と日本PROJECT-
13	WEBチラシ	その“サーモン”どこからきたの？2021 ～海と日本PROJECT～

## No. 1 WEBチラシ

津軽海峡を行き来して海の魅力を発見しよう！-海と日本PROJECT-

# 『津軽海峡にいるイルカ・クジラたち』



**講師：松石 隆（北海道大学大学院水産科学研究院 教授）**

1964年東京生まれ。私立武蔵高等学校，東京大学教養学部基礎科学科第二を経て，大学院は東京大学海洋研究所に所属。博士（農学）を東京大学より取得。1993年北海道大学水産学部にて赴任。専門は，水産資源学・鯨類学。現在，北海道大学水産科学研究院 教授。特定非営利活動法人ストランディングネットワーク北海道理事長，北海道大学鯨類研究会顧問。フルート奏者としてステージに立つこともある。

【開催場所】 津軽海峡フェリー函館ターミナル2階  
【開催日時】 2021年4月28日(水)～5月12日(水)  
【その他】 入場無料  
【駐車場】 2時間まで無料

北海道大学鯨類研究会の「津軽海峡イルカチーム パネル展」と同時開催  
～展示会場でインフォメーションディスプレイにて講演を上映～

お問合せ：北海道大学大学院水産科学研究院 マリン・ラーニング事務局（平日10:00～17:00）  
0138-40-5544 umicon@fish.hokudai.ac.jp



## No. 2 WEBチラシ

# 海の宝アカデミックコンテスト 優秀作品上映 -海と日本PROJECT-



**開催期間**  
2021年6月1日（火）～9月21日（火）

**開催場所**  
函館市国際水産・海洋総合研究センター

お問合せ

北海道大学大学院水産科学研究院  
マリン・ラーニング事務局（平日10時～17時）

☎ 0138-40-5544 ☒ umicon@fish.hokudai.ac.jp

マリン・ラーニング  
<https://www.umicon.jp>



このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています



## No. 3 WEBチャラシ

### 北の海の生きものたち -海と日本PROJECT-

#### 「イトウの養殖 ～採卵を中心に～」

山羽 悦郎（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授）



#### 「洋上風力発電と海鳥」

綿貫 豊（北海道大学大学院水産科学研究院 教授）



#### 「海藻の知られざる世界」

宇治 利樹（北海道大学大学院水産科学研究院 助教）

お問合せ

北海道大学大学院水産科学研究院

マリン・ラーニング事務局（平日10時～17時）

☎ 0138-40-5544

✉ [umicon@fish.hokudai.ac.jp](mailto:umicon@fish.hokudai.ac.jp)

オンラインレクチャー

Web「マリン・ラーニング」で配信

<https://www.umicon.jp>



このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています



## No. 4 WEBチャラシ

### 北大練習船のヒ・ミ・ツ

-海と日本PROJECT-



Web「マリン・ラーニング」で配信 <https://www.umicon.jp>



北海道大学大学院水産科学研究院

マリン・ラーニング事務局（平日10時～17時）

TEL:0138-40-5544 ✉ [umicon@fish.hokudai.ac.jp](mailto:umicon@fish.hokudai.ac.jp)

このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています



No. 5 WEBチラシ

# 大阪湾を知ろう！

海遊館  
OSAKA AQUARIUM KAYUKAN

## 2021 ~海と日本PROJECT~



干潟の保全活動



石干見漁体験



渡り鳥観察



アカテガニ放仔観察

主催：NPO法人 南港ウェットランドグループ  
海遊館  
〒552-0022 大阪市港区海岸通1-1-10  
TEL：06-6576-5545  
共催：北海道大学大学院水産科学研究院

### イベント開催日

- 6月26日(土)  
石干見漁体験
- 7月11日(日)  
干潟の保全活動
- 8月21日(土)  
保全活動の効果検証  
秋の渡り鳥観察  
アカテガニ放仔観察

このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています



No. 6 WEBチラシ

#### テナガエビによる水質改善

人工漁礁を用いた増殖実験  
幼生時にプランクトンを摂食  
水産資源として系外持ち出し  
水質浄化へ

#### 赤土流出のしくみ

赤土流出のしくみ  
赤土流出は、山や丘陵地から、雨や雪の浸透による土壌の崩壊によって発生し、河川に流出する。赤土流出は、河川の土質を悪化させ、水質汚濁の原因となる。赤土流出を抑制するためには、河川周辺の植生を保全し、土壌の崩壊を防ぐことが重要である。

河口干潟  
前浜干潟  
【な環境こそ海の宝！】  
の活動  
相調査  
物質源学研究所  
干潟を  
011年より月に1回、  
くはに

私たちの住む五島列島福江島  
来る、  
帰ってくる故郷が  
なくなるのは  
いやだ！！

と、約115kgのうち、  
ました。

「日本の宝島「天草」を  
私たちの手で守ります！」

長い時間加熱処理することにより、  
今年度の活動を通して感じたこと、私たちにできる  
活動の成果を報告していることなど、貴重な機会を提供しています。  
海と日本PROJECTの活動は、環境保全への意識、地元への貢献意識を高めること  
を目的としています。

## 函館2021夏・ 私たちの海の宝は守れるか？ -海と日本PROJECT-

パネル展示：「海の宝アカデミックコンテスト全国大会」の作品から環境問題のパネル・  
北海道大学の研究者による海洋プラスチック汚染のパネルなど

函館市中央図書館展示ホール 2021年7月2日(金)～7月29日(木)

お問合わせ  
北海道大学大学院水産科学研究院  
マリン・ラーニング事務局(平日10時～17時)  
☎ 0138-40-5544 ☒ umicon@fish.hokudai.ac.jp

マリン・ラーニング  
<https://www.umicon.jp>



このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています





## No. 7 チラシ





# 海の中を 覗いてみよう!

## 海と日本PROJECT

**令和3年  
7月24日(土)  
8:45~17:00**

**集合場所** JR高松駅 8:45集合(海水池前)  
同所にて 17:00解散(予定)

**開催場所** 香川大学瀬戸内圏研究センター  
庵治マリンステーション  
(高松市庵治町鍵野4511-15)

**定員・対象** 18名 高校生  
(参加費無料・多数の場合は抽選)  
(今年度はコロナ禍のため、申し込みませんが、  
香川県内の方に優先して頂きます。)

**応募締切** 7月7日(水) 必着

**申し込み方法**  
裏面の申し込み用紙に記入のうえ、メール、FAX、郵便のいずれかでお申し込み下さい。奥下の幾つかの高校の先生には、出席者の募集をお願いします。先生が取りまとめ下さる学校は先生を通じて申し込み下さい。

悪天候の為、当日実習を実施できない場合は延期いたします。

**お問い合わせ・お申込み先**  
〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393  
香川大学農学部 多田研究室  
Tel & Fax: 087-891-3148  
e-mail: kunikata.kyoko@kagawa-u.ac.jp




主催：香川大学瀬戸内圏研究センター・香川大学農学部  
共催：北海道大学大学院水産科学研究院  
このイベントは、海と日本PROJECTの一環で開催しています

## No. 8 WEBチラシ

オンラインレクチャー 2021  
Web「マリン・ラーニング」で配信

### 漂着するイルカ・クジラと海洋プラスチック -海と日本PROJECT-



講師 松田純佳  
(北海道大学大学院水産科学研究院 学術研究員)

1988年京都府出身。2017年に北海道大学大学院水産科学院を修了し、博士(水産科学)を取得。北海道大学大学院水産科学研究院 学術研究員、特定非営利活動法人ストラディンギングネットワーク 北海道副理事長。専門は鯨類の食性研究。イルカやクジラが打ち上がったと聞けば調査のため出勤する日々を送っている。

お問合せ  
北海道大学大学院水産科学研究院  
マリン・ラーニング事務局 (平日10時~17時)  
☎ 0138-40-5544 ☒ umicon@fish.hokudai.ac.jp

<https://www.umicon.jp>



北海道大学  
HOKKAIDO UNIVERSITY

このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています





No. 9 チラシ

海と日本PROJECT ミッション2021

自然エネルギーの  
活用で本来の地球  
環境を取り戻せ!

洋上風力発電を中心として

8月6日(金) 会場 釧路マリーナ、釧路沖洋上

定員 20名 事前申込制  
参加費 無料 ※10日のみ骨格展示入館料  
対象 中学生・高校生  
※6日、10日の両日とも参加できる方

8月10日(火) 会場 千歳市科学館 10階探究実験室

※観覧席により中止または変更する場合がございます。  
※必ずマスクの着用をお願いします。マスクをお持ち  
でない場合は、参加をご遠慮いただけます。

共催：千歳市科学館、北海道大学大学院水産科学研究院 協力：東京電力リニューアブルパワー株式会社、釧路海洋研究所

海と日本 PROJECT 北海道大学  
協賛提供：早稲田大学 風能センター / 東京電力リニューアブルパワー



このイベントは「海と日本PROJECT」の一環で実施しています

No. 10 チラシ

海の魚はおもしろい! -海と日本PROJECT-  
魚類分類学のすすめ～講義動画放映&ポスター展示



描画：今村 央（北大大学院水産科学研究院）

2021年8月9日(月祝)～11日(水) 10:00～17:00

会場：「道新DO-BOX」(札幌市中央区大通西3丁目6 北海道新聞社北一条館1階)  
お申し込み不要、当日会場にお越しください

- 魚類は、最初に現れた脊椎動物として約5.5億年の進化の歴史をもち、現生種だけでも約34,000種以上が知られ、その数は脊椎動物全体の約半分に相当します。「魚類分類学」は、それらの膨大な種を特徴ごとにまとめて分ける学問です。
- 本イベントでは、会場内で「魚類分類学」に関する北海道大学研究者の講義を終日放映します(約50分)。また、講義に関連したポスターを展示いたします。

講師：今村 央(いまむら ひさし) 北海道大学大学院水産科学研究院教授  
1996年北海道大学大学院水産学研究科博士後期課程修了。2016年から北海道大学大学院水産科学研究院教授。研究室では、「魚類の種多様性」を探索するフィールド・サイエンスとして、「形態学を基盤とした魚類の系統分類学」に関する教育・研究を行っている。研究課題としては、コチ科魚類の種多様性の解明、カサゴ目魚類の系統分類学的研究、北海道の魚類相に関する研究などに取り組んでいる。



主催：北海道大学大学院水産科学研究院 後援：北海道新聞社  
お問合せ：北海道大学大学院水産科学研究院マリン・ラーニング事務局  
Tel：0138-40-5544(平日10:00～17:00) e-mail：umicon@fish.hokudai.ac.jp

マリン・ラーニング  
https://www.umicon.jp



日本財団 THE NIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT



北海道大学 HOKKAIDO UNIVERSITY

このイベントは、  
海と日本PROJECTの一環で  
実施しています

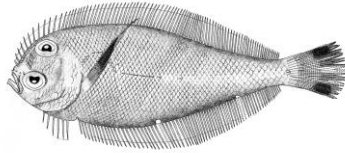
# No. 10 ポスター

北海道大学  
HOKKAIDO UNIVERSITY

海の魚はおもしろい! 一海と日本PROJECT-

## 魚体図ギャラリー

描画: 北海道大学大学院水産科学研究院 教授 今村 央



ダルマガレイ属の一種  
*Engyrosspon henleyi* Amaoka and Imamura, 1990

インド洋の南緯10度東経60度に位置するサヤ・デ・マルハバンク (Saya de Malha Bank) から採集された標本に基づいて1990年に新種として発表されたダルマガレイ科魚類。体は比較的細長く、体長は体高の2.4-2.7倍である。鰓耙は6-9・16-19と多いなどの特徴を持つ。本属には性的二形があり、雄では両眼の前方に吻端に棘を備え、両眼間隔が広いのに対し、雌では頭部に棘がなく、両眼間隔が狭い。

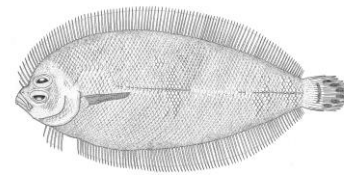
海と日本PROJECT

北海道大学  
HOKKAIDO UNIVERSITY

海の魚はおもしろい! 一海と日本PROJECT-

## 魚体図ギャラリー

描画: 北海道大学大学院水産科学研究院 教授 今村 央



ナガダルマガレイ属の一種  
*Arroglossus sayuensis* Amaoka and Imamura, 1990

本種はサヤ・デ・マルハバンク産のダルマガレイ科魚類である。本種は頭が小さく、体長の1/4以下である。側線鱗数が72-76である。尾鰭は6個の黒色帯をもつなどで特徴づけられる。本種は体長14 cm程度で、ダルマガレイ科の中では中型である。


海と日本PROJECT

北海道大学  
HOKKAIDO UNIVERSITY

海の魚はおもしろい! 一海と日本PROJECT-

## 魚体図ギャラリー

描画: 北海道大学大学院水産科学研究院 教授 今村 央



ナブトゲゴチ  
*Grammolitops knappi* Imamura and Amaoka, 1994

南シナ海 (ボルネオ島沖、タイランド湾、海南島) から採集された標本に基づいて、1994年に新種として発表されたコチ科ゲゴチ属魚類。頭部背面に多くの棘を備え、眼が大きく両眼間隔が狭い。ほぼすべての側線鱗に顕著な1本の棘を持つなどの特徴がある。日本からは徳島県阿南と高知県宇佐からの報告例がある。

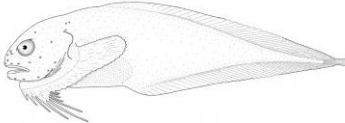
海と日本PROJECT

北海道大学  
HOKKAIDO UNIVERSITY

海の魚はおもしろい! 一海と日本PROJECT-

## 魚体図ギャラリー

描画: 北海道大学大学院水産科学研究院 教授 今村 央



シレットコビクニ  
*Careproctus parvidiscus* Imamura and Nobetsu, 2002

北海道知床沖のオホーツク海の水深400-700mから採集された1個体に基づいて、2002年に新種として発表されたコチ科コビクニ属魚類。本種は背鰭鱗数が50本である。背鰭鱗数が44本である、肋骨が2本である。歯門歯が14本である。腹吸盤が小さいなどの特徴により、他のコチ科魚類から識別可能である。本種の名前は、本種が採集された知床岬に因っている。本種はこれまで1個体しか報告されていない新種である。

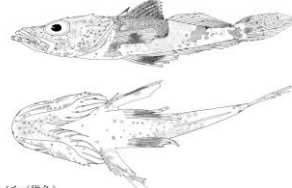
海と日本PROJECT

北海道大学  
HOKKAIDO UNIVERSITY

海の魚はおもしろい! 一海と日本PROJECT-

## 魚体図ギャラリー

描画: 北海道大学大学院水産科学研究院 教授 今村 央



メゴチ (鰻魚)  
*Institator meerdervoortii* (Bleeker, 1860)

メゴチは図南から台湾にかけて分布するコチ科魚類で、大隅、内海、河口域などの砂泥底に生息する。本種の産地は、山形県から採集された12個体の標本 (体長12.9-43.8 mm) に基づいて、1996年に初めて報告された (Imamura et al., 1996)。本種の成魚は体長21cm程度になり、眼下骨の隆起線に4本以上の棘を持つ、頭部背面には小棘と顆粒状突起が多数分布する。虹彩皮膜は二葉型、鰓蓋部の縁に1枚の細い皮弁を持つなどの特徴により、他のコチ科魚類と容易に識別できるが、小型の稚魚ではこれらの形質が十分発達しておらず、分類は極めて難しい。この個体は体長12.9 mmの個体に基づいている。

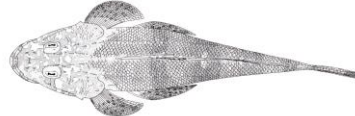
海と日本PROJECT

北海道大学  
HOKKAIDO UNIVERSITY

海の魚はおもしろい! 一海と日本PROJECT-

## 魚体図ギャラリー

描画: 北海道大学大学院水産科学研究院 教授 今村 央



スナゴチ  
*Sumagocia arenicola* (Schultz, 1966)

沖繩県を含む西部太平洋とインド洋の熱帯～亜熱帯域に分布するコチ科魚類で、岩礁域や珊瑚礁域近くの砂地に生息する。本種は唇に皮弁を持たない、眼下骨の隆起線に4本以上の棘を持つ、虹彩皮膜は短くて分岐するなどの特徴により、他のコチ科魚類と容易に識別できる。本種は従来は *Thysanophrys* (クロシマゴチ属) に含められていたが、コチ科魚類の系統関係が推定され、本種は近縁種とともに独自の分岐群を形成することが判明したため、本種に基づいて新属 *Eurycephalus* が設立された (Imamura, 1996)。*Eurycephalus* は昆虫の属に先取されていたため、後に置換名として *Sumagocia* (スナゴチ属) が設立された (Imamura, 2003)。

海と日本PROJECT



No.11 チラシ・ポスター

# 海と日本PROJECT 鹿児島県のサメを調べる ～サメ解剖教室～

県内で捕獲されたサメを使い、スケッチする(観察)、種類を調べる(同定)、大きさを測る(計測)、サメの撮影や解剖など初歩の魚類学を、サメ先生から直接指導をしていただきます。

2021年 **8月25日(水) 13:00-17:00**

場 所 かがしま水族館1階 レクチャールーム  
対 象 中学生・高校生  
定 員 18名 (超えたら抽選)  
料 金 入館料(年間パスポート可)  
締 切 2021年8月4日(水) 必着

※ 当選者のみ締切日から1週間以内に参加証を送付します。  
※ 新型コロナウイルス感染症の状況により、変更または中止となる可能性があります。  
※ 仲谷先生はリモートでの参加となる可能性があります。

サメ先生

**講師** 仲谷 一宏 博士

(北海道大学名誉教授 気仙沼シャークミュージアム名誉館長)  
様々なサメ類の形態学、分類学、生態学を中心に研究に従事。  
2016年からは「サメ先生のサメの歌」をYouTubeで公開中!

**申込・問合せ先**

はがき、館内のイベント応募はがき、又はホームページ応募フォームに  
氏名、学年、年齢、住所、電話番号 をご記入の上、ご応募ください。  
かがしま水族館 「サメ解剖教室」係  
〒892-0814 鹿児島市本港新町3-1  
TEL 099-226-2233



応募はこちらから

主催：かがしま水族館 共催：北海道大学大学院水産科学研究院





このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています

No.12 WEBチラシ

## 2021海峡の夏・ 空から考える私たちの海の宝 -海と日本PROJECT-

期間：2021年8月25日(水)～8月31日(火)  
場所：函館空港1F中央ホール

お問合せ  
北海道大学大学院水産科学研究院  
マリン・ラーニング事務局(平日10時～17時)  
☎ 0138-40-5544 ☒ umicon@fish.hokudai.ac.jp <https://www.umicon.jp>

マリン・ラーニング




**北海道大学**  
HOKKAIDO UNIVERSITY

このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています


**海と日本PROJECT**








お寿司を食べてサケを知ろう! **北々亭** 

# その“サーモン”どこからきたの? 2021

～海と日本PROJECT～



回転寿司でも大人気のサーモン。でも、今食べた「サーモン（サケ）」は何という種類でどこで育ったか、皆さんはご存じでしょうか。北海道大学の清水宗敬教授によるサケのお話や水族館の裏側探検とともに、サーモンの解体実演や寿司握り体験などを通して、楽しく美味しくサケの魅力に迫ります。

-  **開催日時** 2021年10月2日（土）13時～15時
-  **会場・参加費** 千歳水族館 2階学習室 ・ 参加費500円（入館料別途必要）
-  **対象・定員** ご家族等3名以上5名以下のグループでお申込みください  
先着 8組（事前申込必要）
-  **申込期間** 2021年9月11日（土）～9月26日（日）
-  **申込方法** 千歳水族館ホームページにある専用サイト「<https://chitose-aq.jp/archives/17053.html>」から、リンク先の専用申込フォームにてお申し込み下さい。

サーモン買の人数・年齢が  
かゝる事を空かせて  
お申込み下さい



このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています

共催：北海道大学大学院水産科学研究院 協力：株式会社ダブルコーポレーション / 北々亭 千歳店

〒066-0028 千歳市花園2丁目312番地 サモンパーク千歳内 TEL 0123-42-3001 FAX 0123-42-2310  
E-mail: salmon@chitose-aq.jp Website: <https://www.chitose-aq.jp/>

入館料（個人 団体10人以上） ■大人 800円/600円 ■高校生 500円/400円 ■小・中学生 300円/200円 ■幼児 無料  
開 館 ■営業時間 9:00～17:00 ■休館日・年末年始（2021年12月29日～2022年1月1日） ■メンテナンス休館（2022年1月11日～31日）

